

令和8年第1回教育委員会議事録

令和8年1月14日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会議事録

日 時 令和8年1月14日(水) 午後2時00分～午後2時24分

場 所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 渋谷 正宏 委 員 對馬 初音

委 員 伊井 希志子 委 員 前田 小百合

委 員 大川 康德

出席説明員 事務局次長 井上 純良 学校整備・支援担当部長 高山 靖

庶務課長 近藤 高成 学校ICT担当課長 松下 征弘

教育人事・指導課長 松尾 了 教育人事・指導課
統括指導主事 柿添 剛広

学務課長 森 令子 特別支援教育課長
就学前教育
支援センター所長 有坂 直子

学校整備課長 安川 卓弘 学校支援課長 中曾根 聡

生涯学習推進課長 牛山 進一郎 済美教育センター所長 古林 香苗

済美教育センター
統括指導主事 清水 里恵 済美教育センター
教育相談担当課長 岡部 洋右

中央図書館長 出保 裕次 副 参 事
子どもの居場所
づくり担当 有吉 俊輔

事務局職員 庶務係長 倉岡 直哉 法規担当係長 荒川 正良

担当書記 松尾 菜美子

傍 聴 者 1名

会議に付した事件

報告事項

- (1) 杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務受託者候補者の選定結果について

行政視察の実施報告

目次

報告事項

- (1) 杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計
等業務受託者候補者の選定結果について・・・・・・・・・・ 4

行政視察の実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

教育長 定刻になりましたので、ただいまから令和8年第1回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。

本日の会議について、事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 本日の議事録の署名委員につきましては、教育長より事前に大川委員とのご指名がございましたので、よろしくをお願いいたします。

本日の議事日程についてでございますが、報告事項1件のほか、對馬委員による行政視察の実施報告を予定してございます。

以上でございます。

教育長 それでは、本日の議事に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、報告事項1番「杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務受託者候補者の選定結果について」、学校整備課長からご説明申し上げます。

学校整備課長 杉並区立西宮中学校と併設します（仮称）コミュニティふらっと宮前の設計事業者の受託者候補者の選定結果についての報告です。

今回公募型のプロポーザル方式で募集を行いまして、6事業者から応募がありました。こちらにつきまして、杉並区プロポーザル選定委員会条例に基づきまして設置しました選定委員会において審査した結果、1番で記載のとおり、株式会社昭和設計東京事務所が受託者候補者として選定されております。

選定の経過につきましては、今回6事業者の応募に対しまして、第一次の書類審査を行った結果、6割以上を取得した5事業者に対して第二次審査を実施しました。その結果、一次、二次ともに6割以上を取得した事業者のうちで最高点であった、先ほど申し上げた昭和設計東京事務所を選定者としたものでございます。

選定経過については記載のとおりでございます。また選定委員会の構成につきましては裏面に記載のとおり、今回設計業者の選定ということで、建築設計に関するご専門の方と学校教育に関する専門の方に入らせていただきまして、記載のと通りのメンバーで選定を行っております。

今後につきましては、速やかに契約を締結するとともに、設計の方を進めまして、再来年の3月までに設計業務を完了する予定でございます。

別紙の方で選定結果を記載してございます。表中で昭和設計はE社で

ございまして、全体としては77%の得点率を得たものでございます。

何枚かおめくりいただきまして、昭和設計の企画提案書の概要版を添付してございます。全体としては11枚目、12枚目の資料の方をご覧くださいただければと思います。今回の主な企画提案の内容でございますが、基本的には北校舎といたしまして、南側に校庭を配する提案になってございます。

12枚目の方の右側に各階の平面図の概要が載っております。こちらで少しご説明したいと思いますが、右下のところに1階の平面図がございまして、基本的に東側が学校のエリア「教職員コモンズ」と書いてありますが、学校の専有エリアとしまして、西側の方に体育館とコミュニティふらっと宮前という開放を想定したエリアを配しまして、その間に「西宮ストリート」と書いてありますけれども、貫通通路のような屋外空間を設けてセキュリティを区切りながら、学校開放も進めていくと。そんな提案になっております。

その上に2階の平面図ございまして、コミュニティふらっとの利用者がすぐ2階に上がりますと、家庭科室ですとか音楽室、あるいは美術室といった、今後学校開放が当面見込めるような諸施設をすぐ上に配しております。これらの特別教室についても学校開放を進めていくと、そんなことも意図した計画になってございます。

簡単ですが、説明は以上でございます。

庶務課長 ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

伊井委員 公募型のプロポーザルということで、6社応募があったということは、今回見せていただいた形で、本当にいろいろな取組があつて、決まりました昭和設計さんだけではなくて、ほかのところも杉並の教育についてすごく深く考えて提案されているなということを思いました。

伺いたいのは、第二次審査のところに「ビジョン1」「ビジョン2」という記載がございましてけれども、具体的に設計図の方とか、ラフなども拝見しますと、例えば目標1は「主体的で深い学びを追求する学校づくり」ということで昭和設計さんは書いてあるのですが、別のところだと、そのビジョンの言い回しとか、目標1の言い方も「Education For All/By All」とか、それを形にする学校設計という、ビジョン1の表現であつたり、その後の目標の表現であつたりが

幾分異なる形もあるのですが、プロポーザルの時に、杉並区側からは柱としてどのような形で応募を募ったのか教えていただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

学校整備課長 ありがとうございます。このビジョンですとか目標、取組といった背景につきましては、昨年の秋に、改築の基本方針として区で定めまして、教育委員会でもご報告したことがあったと思っております。

そちらで、今回の改築で目指す学校像ですとか、コミュニティふらっとと学校との関係性ですとか、そういった考え方をまとめまして、そういったことを実現するために、どのような技術的な提案ができるかといったところで、今回プロポーザルで企画提案をしていただいたと、そんな経過でございます。

伊井委員 そうすると、杉並区の方から提示したものに対して、それぞれの設計事務所さんで検討を重ねて、このような形でビジョン1をつくられて、それでまた表現されていると解釈してよろしいでしょうか。

学校整備課長 はい、おっしゃるとおりでございます。

伊井委員 検討懇談会でも様々なご意見が出て、この形になっても、今後も話し合いを進めていきますということを表していらっしゃる会社がほかにもあり、また環境に配慮したというあたりも、それから、100年とか50年とか長期的に持続可能な建物であるということなど、様々なご提案があって大変興味深く思います。また、今後も楽しみな、このコミュニティふらっとさんと中学校が一緒になるという形の、今後に展望がある、楽しみな見通しの建物だなと思いますので、是非地域の方々のご意見を伺いながら、また学校のお話も伺いながら、いい形で進めていただけたら、今後も大変楽しみなランドマークになるのではないかなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

学校整備課長 先ほど申し上げましたけれども、今後また改築検討懇談会で、この企画提案だけに限らず議論していきながら、ご意見も伺いながら進めていきたいと思っております。また、冒頭おっしゃっていただいたとおり、他の事業者からもたくさんご提案を頂いておりますし、また、概要版につきましては今回他社の分も公表でございますので、懇談会でも共有しながら、よりよい設計に反映していきたいと考えております。

伊井委員 よろしくお願ひいたします。

庶務課長 ほかはいかがでしょうか。

よろしいですか。では、ないようでございますので、以上で報告事項1番についての質疑を終わらせていただきます。

報告事項については以上でございます。

教育長 では続きまして、日程第2、對馬委員より行政視察のご報告をお願ひいたします。

對馬委員 それでは、少しお時間を頂いて行政視察の報告をさせていただきたいと思ひます。

日程が12月10日から11日。訪問先は石川県の白山市と金沢市の2か所に行つてまいりまして、2日間で視察は5か所、見学は2か所という駆け足でございました。ちょっと報告が長くなるかもしれませんが、すみません。

まず、石川県白山市。概要として右下に地図を貼り付けた、この赤いところになるのですが、金沢市からすぐ近くなのですけれども、この赤く膨らんでいるところが山間部になって、それを通り越して岐阜の方に行つてすぐのところ、白川郷があるという位置のところ、

人口が11万2,000人。小学校が19校、中学校が9校で、図書館が4館と1分館と移動図書館車ということでした。学校司書は全校に配置されております。正規職員が19名と会計年度任用職員が8名で、年に一人ぐらい正規に移っているということでした。

その中の、割とまちの近くにあります白山市立北陽小学校というところを見せていただいたのですけれども、左側が1年生のむかしばなしを楽しもうという図書の授業です。これは杉並とそんなに大差なかったです。

右側の掲示物、これは図書室の掲示物なのですけれども、各学年の読書の目標が貼つてあります。学習指導要領に書かれているものを分かりやすい言葉にして貼つてあるのですが、こういう掲示を私はほかの学校ではあまり見たことがなくて、非常に目的が明確になっていていいなと思ひました。

続きまして、そこの学校の近くにある白山市立学校図書館支援センターというところに伺ひました。これは学校の近くの駅前にある、白山市の中央図書館に当たる部分、松任図書館というのですけれども、そこの

中の一室にございまして、手前の机のある部分がいわゆるオフィス部分、奥の方に本棚がありますが、その奥に書庫がございまして、約 1 万 2,000 冊、この学校図書館支援のための蔵書を持っているということでした。

職員は正規職員が 1 名と会計年度 2 名なのですけれども、全員学校司書の経験者ということで、主に会計年度の 2 名の方が、学校からのリクエストに応じてこの書庫から選んで、支援する本を出しているということで、ここの本に関しては図書館の予算で買っていると。図書館の中にありますので、学校からリクエストが来た時に本がないと、図書館の方からも借りたり、「本がないです」と言うとなんとなくすぐを買ってくれたりして、大変ありがたいとおっしゃっていました。

ほかに杉並と同じように学校を巡回したりとか、そういうこともやっていたらっしゃるのですけれども、一つ、杉並では聞いたことがないなと思ったのは、先生文庫というのを、リクエストに応じて各学校の職員室に対して毎月 30 冊ぐらい、先生に読んでいただきたい本を「うちの学校にください」と言ったところには出していると。それは授業に使えるものに限らず、癒しの本であるとか、はやっているものであるとか、こんなものを大人も読んでくださいねというものを出して、ご好評を得ていますということで、それもととてもいいなと。図書館の中にあるからそういう融通が利くのかなとも思いました。

次が、金沢市の方に伺ったのですけれども、人口は約 45 万人ということで、杉並よりちょっと少ないところです。そこに小学校 51 校、中学校 21 校ありまして、図書館は、子どもの専門図書館があるのですが、それを含めて 4 館と 2 分館ということで、ここは、杉並の方が大分図書館の数は多いなとは思いました。

その中の金沢市立中央小学校というところを見せていただきました。金沢駅から徒歩だと 15 分ぐらい、バスで 10 分ぐらいのところにある学校でして、行ったことがある方はご存じかもしれませんが、近江町市場という大きな市場があるのですが、そこから歩いてすぐの学校です。

17 学級 479 人の子どもたちが、2022 年に建てられた新校舎で学んでいました。ここも学校図書館を見せてくださったのですけれども、非常に新しくてきれいなところなのですが、左側 2 枚にありますように、成果物の掲示がととても多いところでした、これは 1 年生の「くじらぐも」

の学習の時に、教材を読み取るだけではなくて、幾つかの絵本を子ども
の人数分集めて、グループに提供して、その中で自分だったらここでど
んなセリフを言うだろうとか、ここで自分はどう思ったかなというのを
どんどん付箋で貼って行って、つくるという授業を、結構力を入れてや
っていらっしゃるということでした。

これは図書館の外の廊下にあった掲示なのですけれども、木が2本あ
って、これは読書の木なのですが、よく杉並とかで見るのは木が1本な
のですね。たくさん読んだらお花をつけていくとか、葉っぱをつけてい
くというのが多いのですけれども、ここは2本あって、左側が何冊読ん
だかという量を計っている。右側の木が質でして、この本を読みなさい
ねと言われている本をどれだけちゃんと読めたかというので、量と質、
両方で必ず計るようにしていますということでした。これはあまりほか
の学校では見たことがなかったです。さらに、色が違うのは学年カラー
で貼るようにしていて、何年生はいっぱい目標達成できているねとい
うことが一目で分かるような工夫がされていました。

次が、指導主事さんの方から新金沢型教育モデルというのを丁寧に説
明していただきましたので、ちょっとご紹介したいと思います。

今年度からなのですけれども、このように金沢ベーシックカリキュラ
ムというのが一番下にあって、そこから探究スタイル、リフレクション、
創造力を育てるということで、主体的にデジタルと関わるデジタル力、
学び続けるための土台となる読解力、そして他者と意思疎通を図るた
めのコミュニケーション力、この三つの定着を図って、今年から頑張っ
ているということです。

これは教育委員会が主導して授業のモデルとかを提供したり、教材を
提供したりということをしているそうです。

この学校の4年生だったかな、デジタル化の授業を見せていただいた
のですけれども、この模造紙にある線の上を各自ロボット1台とタブレ
ットで、これを自分の思った設計図どおりに走らすということなのですが、
やっぱりなかなか思ったようにはいかないのですね。うまくいかな
いのですが、これを見ていて思ったのは、小さな試行錯誤をたくさん積
み重ねている。トライ・アンド・エラーをたくさんやっているの、ち
よっとしたことにくじけにくくなるといいますか、いっぱい失敗して、
いっぱいそれを乗り越えていくという力もここで養われるのだろうなど

思いました。

それから、一人1台でやっているのですけれども、やっぱりうまくいかないとほかの子に聞いたり、ほかの子が「もっとこうやったらいいんじゃない」という対話も自然に生まれている。だから先生とICT支援員の方と両方いらっしゃったのですけれども、いきなり聞くというよりも、何度も何度もやって、どうしても分からなかったら手を挙げて聞くという子が多くて、そういう小さな山を乗り越えていこうとする力というのが、この授業の中から育っていくのかなと感じました。

今の授業などは、総合科と生活科の授業を何こまか使ってこのようにすごく細かくできているのですけれども、それは金沢市のホームページに全部載っているようなので、どうぞそちらをご覧ください。

次に、中央小学校さんが、芳齋分校という分校を持っています。これが特別支援学校になっているのですね。知的障害の子と自閉症と情緒障害の子。市内全域からスクールバスに乗って通学が可能だということです。

金沢市立長町中学校芳齋分校というのと併設というか、同じ校舎を使っているのですが、中学の方は公共交通機関を使っての通学を求めているということで、そこでハードルがあるのでちょっと生徒が減るとおっしゃっていました。ここは新しい施設なのですけれども、この施設の中には特別支援教育サポートセンターと児童館と公民館が併設されているという施設でした。

その後、金沢市立玉川こども図書館というところに伺いまして、ここは中央小学校と隣接している校舎一体型の図書館になっています。リニューアルして、1階が「木のひろば」「おはなしの部屋」といって、1階は全部これなのです。遊びの中に本があるという、子どもたちの日常の中にある遊び。遊んでいるとちょっと本があって、それにも手を伸ばしてみようかなと。日常生活と本をすごく近づける工夫がされているなと感じました。

ここはやっぱり子育て世代の読書離れを防ぎたいというのがすごく大きなテーマとしてあるそうで、一番右の写真が「おはなしの部屋」でおはなし会が毎日午前午後1回ずつ、2回行われているようなのですけれども、月に一度ここで一人1回1時間のみなのですが、託児サービスもやっていて、その託児をしている間に大人がゆっくり本を選べるように

というサービスをしているそうです。

ちなみにこの「木のひろば」のところには、業務委託をしているところから、保育士の資格を持っている方が常に2名見守ってくださっているということでした。

上の階は、2階が0歳から低学年、3階がその上の年齢の子の方なのですがすけれども、36言語の本を収集しているということで、海外の絵本を専門に収集する司書がいるということ。それから地元の企業の方などが海外出張に行ったり、海外駐在員の方が向こうで本を買ってきて寄附してくれたりということで、たくさん本が集まっていますということでした。それから、地元の大学生とも連携して、ボランティアなどをしていただいているそうです。

ここまでが視察で、あと見学に行ったのですけれども、これはご存じでしょうか。2011年に開館して世界で最も美しい公共図書館ベスト25にも選ばれた金沢海みらい図書館というところなのですが、これは分館の一つですので、中でやっていることは別にそんなに特筆すべきことはありませんが、美しいところでした。

もう一つ、これがやっぱり特筆すべきところでして、石川県立図書館、22年7月にオープンして、ここは今、日本一の図書館とも言われていまして、目の前が大学なのですが、そこと合わせてすごくアカデミックな地域をつくっているというところで、これが中の様子なのですがすけれども、メインはこうやって面出しといって本の表紙を広げるようにしてだっと並んでいて、そこにいろいろな椅子とかがたくさんあって、自分の好きなところで自由に読むと。この奥の方に行くと、この本棚の裏側に行くと書架があって、いわゆる公共図書館のNDC順分類がされているので、入り口で何か気に入った本があって、もっと知りたいとなったら奥の図書館の世界に入っていくという、本当にここに行くために金沢に行くと言ってもいいと言われているような、非常に評判の建物です。

左側の写真、サイレントルームというのがあるのですけれども、この部屋と同じぐらいでしたか、50席ぐらいの部屋なのですが、ここだけは絶対に音を出してはいけません。パソコンのキーの音も気をつけてくださいと書いてあって、逆に言うとそれ以外のところは少ししゃべってもいいよというイメージなのです。児童コーナーも非常に広くて、ここもさっきのこども図書館と同じで、遊びと本がすごく近いところにある。

この網のところはトンネルみたいになっていたりして、遊びながら本を読むと、本を楽しみながら遊ぶみたいなイメージがある児童コーナーでした。本棚はあるのですけれども、本がすごく並んでいるというよりも遊んでいたら本があったぐらいのイメージになっているところで、日常の中に本を入れるには、こういう入り口というのがすごく大事なのかなと感じました。

早口で申し訳ありません、以上です。貴重な機会を頂きまして、ありがとうございました。

教育長 ありがとうございました。

それでは、以上で本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。

庶務課長、連絡事項がございましたらどうぞ。

庶務課長 次回の教育委員会定例会につきましては、公務の都合により日時を変更させていただきまして、1月30日金曜日、午前9時半からを予定してございます。どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

教育長 それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。